

# 各団体の認知症対策に関する取組について

団体名	岡山県医師会	資料	P2-P12
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症に関する改正道路交通法協議会</li> <li>・日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修会</li> <li>・岡山県医師会認定かかりつけ医研修会</li> </ul>			

団体名	岡山県歯科医師会	資料	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本歯科医師会生涯研修セミナーDVDを19地区歯科医師会へ配布 ※DVDに収録されている4演題の内、1演題が認知症に関するもの。</li> <li>・認知症高齢者の口腔健康管理～食を通じた生活支援のために～ 枝広あや子 先生(東京都健康長寿医療研究センター研究所常勤研究員)</li> </ul>			

団体名	岡山県看護協会	資料	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師等の認知症対応力の向上</li> <li>・看護職員認知症対応力向上研修 「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」 開催回数: 2回 受講者数: 241人</li> </ul>			

団体名	岡山県精神科病院協会	資料	P13
<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県認知症臨床倫理研究会(年3回)への協力、参加、事業支援 2015年から2019年度まで継続中</li> </ul>			

団体名	岡山県警察本部警務部警務課	資料	P14-P16
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全運転相談ダイヤル(#8080(シャープはればれ))」の運用</li> </ul>			

団体名	岡山県くらし安全安心課	資料	P17
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における見守りネットワークの構築について</li> </ul>			

## 令和元年度認知症に関する改正道路交通法協議会

日時：令和元年6月12日（水） 17：00～18：30

場所：岡山県医師会館 401会議室

### 1. 開会挨拶

岡山県医師会長 松山正春

### 2. 協議題

#### 1) 情報提供

##### (1) 岡山県保健福祉部長寿社会課

##### ① 「令和元年度岡山県認知症関係施策の主な取組について」

###### ●認知症カフェの普及啓発

昨年度、県内の各認知症カフェの運営状況等の実態調査を行い作成した認知症カフェマップを市町村や医療機関等に配付したところであり、今年度もさまざまな機会を活用して、認知症カフェに対する理解促進と普及啓発を図る。

###### ●本人ミーティングの開催

県内の認知症当事者が集まり、自らの意見や要望等を主体的に語る本人ミーティングを開催し、認知症の人の社会参加を支援する事業を実施する。

###### ●VRシステムによる認知症の普及啓発

座学だけでは実感が湧かない認知症の症状等についての理解を深めるため、昨年度に研修対象としていた医療・介護サービスの管理者に加えて、今年度から介護家族、支援ボランティア、医療系・福祉系の学生などに対象を拡大し、VR（仮想現実）機材を用いた擬似体験を含む研修等を実施する。

###### ●市町村認知症セミナーの開催

認知症の人やその家族を地域で支える体制づくりを推進するため、県外の先進事例を普及するための研修を実施するなど、市町村が効果的に事業を進めることができるよう支援する。今年度は、中国四国厚生局と共催し、国の施策説明や、国が新規事業として実施する認知症サポーターの活用促進の先進事例発表を内容とする研修会を開催する予定である。

###### ●通所付添サポート事業

介護予防体操などを行う通いの場に、自力での参加が難しくなった高齢者が参加を継続できるように、地域住民が自宅から通いの場まで付き添い、誘い出しや身支度準備などの支援を行う付添活動の仕組みを普及するため、市町村の取組を支援する。昨年度は、備前市、矢掛町、奈義町、吉備中央町が取組を実施しており、今年度はさらなる普及を図る。

##### ② 「市町村別認知症施策の取組状況について」

初期集中支援チームは全県で設置が完了した。サポート医は199名、かかりつけ医研修修了者は1,733名となった。認知症カフェは118施設となっている。

##### ③ 「新オレンジプランに係る目標の達成状況」

認知症サポーターの人数は累計で175,026人であった。かかりつけ医認知症対応力向上研修の受講者数は累計で1,733人、認知症サポート医養成研修の受講者数203人、歯科医師認知症対応力向上研修の受講者数は281人、薬剤師認知症対応力向上研修の受講者数は609人であった。認知症疾患医療センターは9箇所となり、未設置であった真庭県域に設置され、すべての2次保険医療圏に設置されたことになる。

## (2) 岡山県警察本部交通部運転免許課

### ①「高齢運転者対策の推進状況（平成30年中）」

高齢運転者（75歳以上）対策の推進として、高齢運転者の認知機能検査受験等の状況は、延べ42,545人が受験し第一分類と判定されたのは1,313人。そのうち、免許取り消しとなったのは91人、免許停止となったのは3人であった。「臨時」及び「更新時」の認知機能検査では、一定の違反行為（75歳以上）2,791人に臨時認知機能検査はのべ2,382人に行われ、第1分類はのべ74人、第2分類はのべ654人、第3分類は1,654人で、このうち臨時高齢者講習受講者は216人であった。診断書提出命令等対象者は66人で自主返納が21人であった。診断書提出者は32人で23人は認知症ではないと診断され、9人は認知症と診断され10人が免許取消となっている。更新時の認知機能検査はのべ40,163人に行われ、第1分類はのべ1,239人、第2分類はのべ10,548人、第3分類は28,376人で、診断書提出命令等対象者は976人で自主返納が328人、失効が82人であった。認知症でないとして診断されたのは208人で、認知症と診断されたのは86人で免許取消が81人、免許停止が3人であった。

### ②「運転適性相談員としての医療系専門職員（保健師）の配置状況」

平成29年7月から職員の健康管理を担当する保健師1名を運転免許センターに配置し、認知機能の低下が疑われる方などからの相談受理及び面接を行っている。このほか、臨時適性検査実施時の指定医等への連絡・調整及び検査への随行、提出された診断書の内容確認等の業務を行っている。

#### ●保健師配置の効果

保健師の配置により、高齢者や一定の病気を有する者からの運転適性相談等に対し、医療に関する知識を基とした適切な質問及びアドバイスを行い、医療機関の受診や運転免許の自主返納の勧奨を行うなど、高齢者等による交通事故防止に効果を上げている。また、相談者からは保健師が相談に乗ってくれて安心した。保健師からのアドバイスで自主返納を考えることとした。など好評を得ている。

#### ●事例

認知機能検査結果が第1分類の者に対する面接。

家族（妻、息子）は、本人の認知機能の低下に気づいていなかったが、認知症特有の症状について説明を行ったところ、家族は本人の記憶力や判断力の低下に気づき免許返納について検討することとなり、後日、免許返納を行った。検査結果が極端に低く、面接時の言動等からも認知症の症状が強く疑われたため、本人に了解を得て妻と連絡を取り妻同席で再度相談を実施した。妻から日常生活でも、道に迷う・食べたことを忘れる・すぐに怒るなど夫について最近不安を感じているとの話があった。聴取結果から認知症の可能性が高いことを本人と妻に説明したところ、免許返納を決断し即日返納手続を行った。

## (3) 岡山県介護支援専門員協会

### ①「道路交通法改正後の“自動車運転と認知症に関わる実態や課題”について」

運転免許返納者約30名について、返納に関わった人物は、本人が約半数、家族が25%

息子が9%、娘が6%などであった。対応方法としては返納が過半数を占め、廃車、車引き取りなどが続いている。本人が返納したことを忘れて運転してしまうなどの事例がある。買い物にもいくことが出来ず、医療機関受診も困難となるなどの問題も生じている。一方、明らかに危ない運転行為のある方へは事故が起きてからでは対応が遅い、事故を未然に防ぐためには更新時のみならずチェック体制が必要ではないか等の行政に対する要望がある。

(佐藤正浩常任理事)



児島医師会：村山正則

# 日医かかりつけ医機能研修制度 2019 年度 応用研修会 (岡山サテライト会場)

## プログラム

開催日：令和元年5月26日(日)

会場：岡山県医師会館 三木記念ホール

参加者：167名

※ 本研修会は、日本医師会館（東京）開催の中央研修を同時中継・動画配信で行います。

9:55	岡山会場 挨拶	岡山県医師会長 松山 正春
10:00	(1) 開会・挨拶	日本医師会長 横倉 義武
	(2) 講義	
10:05	応用研修 第2期 1.(1) : 1単位 生涯教育 CC8:1単位 【専門医共通講習—②感染対策(必修) : 1単位】 かかりつけ医の感染対策(60分)	大曲 貴夫(国立国際医療研究センター 国際感染症センターセンター長)
11:05	応用研修 第2期 3.(1) : 1単位 生涯教育 CC6:1単位 医療保険と介護保険、地域包括ケアシステムの構築(60分)	鈴木 邦彦(医療法人博仁会 志村大宮病院 理事長・院長)
12:05	< 休憩・昼食 > (55分)	
13:00	応用研修 第2期 2.(1) : 1単位 生涯教育 CC19:1単位 かかりつけ医に必要な生活期リハビリテーションの実際(60分)	齊藤 正身(医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長)
14:00	応用研修 第2期 5.(1) : 1単位 生涯教育 CC58:0.5単位 終末期医療、褥瘡と排泄(60分)	羽鳥 裕(公益社団法人 日本医師会 常任理事) 川口 光彦(医療法人川口内科 川口メディカルクリニック 院長・理事長)
15:00	< 休憩 > (10分)	
15:10	応用研修 第2期 6.(1) : 1単位 生涯教育 CC73:1単位 多疾患合併症例(60分)	大橋 博樹(医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック 院長) 高瀬 義昌(医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長)
16:10	応用研修 第2期 4.(1) : 1単位 生涯教育 CC13:1単位 かかりつけ医の社会的処方(60分)	松田 晋哉(産業医科大学 医学部公衆衛生学 教授)
17:10	(3) 閉会・挨拶	
17:15	(4) 終了	

# 日医かかりつけ医機能研修制度 2019 年度 応用研修会（映像研修）

## プログラム

開催日：令和元年 7 月 28 日（日）  
会 場：津山保健センターホール  
参加者 14 名

※ 本研修会は、2019 年 5 月 26 日開催の研修会映像による研修です。

10:00	(1) 開会・挨拶
	(2) 講義
10:05	応用研修 第 2 期 1. (1) : 1 単位 生涯教育 CC8:1 単位 【専門医共通講習—②感染対策（必修）：1 単位】 かかりつけ医の感染対策（60 分） 大曲 貴夫（国立国際医療研究センター病院 国際感染症センターセンター長）
11:05	応用研修 第 2 期 3. (1) : 1 単位 生涯教育 CC6:1 単位 医療保険と介護保険、地域包括ケアシステムの構築（60 分） 鈴木 邦彦（医療法人博仁会 志村大宮病院 理事長・院長）
12:05	< 休憩・昼食 > (55 分)
13:00	応用研修 第 2 期 2. (1) : 1 単位 生涯教育 CC19:1 単位 かかりつけ医に必要な生活期リハビリテーションの実際（60 分） 齊藤 正身（医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長）
14:00	応用研修 第 2 期 5. (1) : 1 単位 生涯教育 CC58:0.5 単位 終末期医療、褥瘡と排泄（60 分） CC81:0.5 単位 羽鳥 裕（公益社団法人 日本医師会 常任理事） 川口 光彦（医療法人川口内科 川口メディカルクリニック 院長・理事長）
15:00	< 休憩 > (10 分)
15:10	応用研修 第 2 期 6. (1) : 1 単位 生涯教育 CC73:1 単位 多疾患合併症例（60 分） 大橋 博樹（医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック 院長） 高瀬 義昌（医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長）
16:10	応用研修 第 2 期 4. (1) : 1 単位 生涯教育 CC13:1 単位 かかりつけ医の社会的処方（60 分） 松田 晋哉（産業医科大学 医学部公衆衛生学 教授）
17:10	(3) 閉会・挨拶
17:15	(4) 終了

# 日医かかりつけ医機能研修制度 2019 年度 応用研修会（映像研修）

## プログラム

開催日：令和元年 9 月 16 日（月祝）

会 場：岡山県医師会館 三木記念ホール

参加者 73 名

※ 本研修会は、2019 年 5 月 26 日開催の研修会映像による研修です。

10:00	(1) 開会・挨拶
	(2) 講義
10:05	<p>応用研修 第 2 期 1. (1) : 1 単位 生涯教育 CC8:1 単位</p> <p>【専門医共通講習—②感染対策（必修）：1 単位】</p> <p>かかりつけ医の感染対策（60 分）</p> <p>大曲 貴夫（国立国際医療研究センター病院 国際感染症センターセンター長）</p>
11:05	<p>応用研修 第 2 期 3. (1) : 1 単位 生涯教育 CC6:1 単位</p> <p>医療保険と介護保険、地域包括ケアシステムの構築（60 分）</p> <p>鈴木 邦彦（医療法人博仁会 志村大宮病院 理事長・院長）</p>
12:05	< 休憩・昼食 >（55 分）
13:00	<p>応用研修 第 2 期 2. (1) : 1 単位 生涯教育 CC19:1 単位</p> <p>かかりつけ医に必要な生活期リハビリテーションの実際（60 分）</p> <p>齊藤 正身（医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長）</p>
14:00	<p>応用研修 第 2 期 5. (1) : 1 単位 生涯教育 CC58:0.5 単位 CC81:0.5 単位</p> <p>終末期医療、褥瘡と排泄（60 分）</p> <p>羽鳥 裕（公益社団法人 日本医師会 常任理事）</p> <p>川口 光彦（医療法人川口内科 川口メディカルクリニック 院長・理事長）</p>
15:00	< 休憩 >（10 分）
15:10	<p>応用研修 第 2 期 6. (1) : 1 単位 生涯教育 CC73:1 単位</p> <p>多疾患合併症例（60 分）</p> <p>大橋 博樹（医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック 院長）</p> <p>高瀬 義昌（医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長）</p>
16:10	<p>応用研修 第 2 期 4. (1) : 1 単位 生涯教育 CC13:1 単位</p> <p>かかりつけ医の社会的処方（60 分）</p> <p>松田 晋哉（産業医科大学 医学部公衆衛生学 教授）</p>
17:10	(3) 閉会・挨拶
17:15	(4) 終了

# 日医かかりつけ医機能研修制度 2019 年度 応用研修会（映像研修）

## プログラム

開催日：令和元年 11 月 7 日（木）

会 場：岡山県医師会館 401 会議室

参加者 14 名

※ 本研修会は、令和元年 5 月 26 日開催の研修会映像による研修です。

13:00	(1) 開会・挨拶	
	(2) 講義	
13:05	【専門医共通講習—②感染対策（必修）：1 単位】 かかりつけ医の感染対策（60 分） 大曲 貴夫（国立国際医療研究センター病院 国際感染症センターセンター長）	応用研修 第 2 期 1. (1) : 1 単位 生涯教育 CC8:1 単位
14:05	医療保険と介護保険、地域包括ケアシステムの構築（60 分） 鈴木 邦彦（医療法人博仁会 志村大宮病院 理事長・院長）	応用研修 第 2 期 3. (1) : 1 単位 生涯教育 CC6:1 単位
15:05	< 休憩 >（10 分）	
15:15	かかりつけ医に必要な生活期リハビリテーションの実際（60 分） 齊藤 正身（医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長）	応用研修 第 2 期 2. (1) : 1 単位 生涯教育 CC19:1 単位
16:15	終末期医療、褥瘡と排泄（60 分） 羽鳥 裕（公益社団法人 日本医師会 常任理事） 川口 光彦（医療法人川口内科 川口メディカルクリニック 院長・理事長）	応用研修 第 2 期 5. (1) : 1 単位 生涯教育 CC58:0.5 単位 CC81:0.5 単位
17:15	< 休憩 >（10 分）	
17:25	多疾患合併症例（60 分） 大橋 博樹（医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック 院長） 高瀬 義昌（医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長）	応用研修 第 2 期 6. (1) : 1 単位 生涯教育 CC73:1 単位
18:25	かかりつけ医の社会的処方（60 分） 松田 晋哉（産業医科大学 医学部公衆衛生学 教授）	応用研修 第 2 期 4. (1) : 1 単位 生涯教育 CC13:1 単位
19:25	(3) 閉会・挨拶	
19:30	(4) 終了	

# 「岡山県医師会認定かかりつけ医研修会」

(地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会)

## プログラム

開催日：令和元年5月19日(日)

会場：真庭リバーサイドホテル

参加者 23名

時間	内容	講師	生涯教育制度 CC：単位
10:00	(1) 開会	岡山県医師会理事 宮本 亨	
	(2) 講義		
10:10	1. 糖尿病 (60分)	菅原 正弘 (医療法人社団 弘健会 菅原医院 院長)	CC76 : 1
11:10	2. 認知症 (60分)	瀬戸 裕司 (医療法人 ゆう心と体のクリニック 院長)	CC29 : 1
12:10	< 休憩・昼食 > (40分)		
12:50	3. 脂質異常症 (60分)	江草 玄士 (江草玄士クリニック 院長)	CC75 : 1
13:50	4. 高血圧症 (60分)	有田 幹雄 (角谷リハビリテーション病院 院長)	CC74 : 1
14:50	5. 禁煙指導 (30分)	羽鳥 裕 (公益社団法人 日本医師会 常任理事)	CC11 : 0.5
15:20	< 休憩 > (5分)		
15:25	6. 健康相談 (30分)	新田 國夫 (医療法人社団 つくし会 理事長)	CC4 : 0.5
15:55	7. 在宅医療 (30分)	太田 秀樹 (医療法人 アスムス 理事長)	CC80 : 0.5
16:25	8. 介護保険 (30分)	池端 幸彦 (医療法人池慶会 池端病院 理事長/院長)	CC13 : 0.5
16:55	9. 服薬管理 (30分)	白髭 豊 (医療法人 白髭内科医院 院長)	CC73 : 0.5
17:25	10. 死体検案 (30分)	三浦 雅布 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 法医学分野 助教)	CC81 : 0.5
17:55	(3) 閉会	真庭市医師会長 金田 道弘	
18:00	(4) 終了		

※平成30年8月26日、12月9日開催の研修会映像による研修です。

# 「岡山県医師会認定かかりつけ医研修会」

(日医 地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会 岡山サテライト会場)  
プログラム

開催日：令和元年 8 月 25 日 (日)

会 場：岡山県医師会館 三木記念ホール

参加者 237 名

※ 本研修会は、日本医師会館（東京）開催の中央研修を同時中継・動画配信で行います。

※「10. 死体検案」は、平成 30 年 12 月 9 日「岡山県医師会認定かかりつけ医研修会」の映像で行います。

9:45	岡山会場 挨拶	岡山県医師会長 松山 正春	生涯教育制度
9:55	(1) 開会・挨拶	日本医師会長 横倉 義武	CC：単位
	(2) 講 義		
10:00	1. 糖尿病 (60分)	菅原 正弘 (医療法人社団 弘健会 菅原医院 院長)	CC76：1
11:00	2. 認知症 (60分)	瀬戸 裕司 (医療法人 ゆう心と体のクリニック 院長)	CC29：1
12:00	< 休憩・昼食 > (50分)		
12:50	3. 脂質異常症 (60分)	江草 玄士 (江草玄士クリニック 院長)	CC75：1
13:50	4. 高血圧症 (60分)	有田 幹雄 (社会医療法人スミヤ 角谷リハビリテーション病院 院長)	CC74：1
14:50	5. 服薬管理 (30分)	秋下 雅弘 (東京大学医学部附属病院 老年病科 教授)	CC73：0.5
15:20	< 休憩 > (5分)		
15:25	6. 禁煙指導 (30分)	正林 督章 (環境省大臣官房審議官 (水・大気環境局等担当))	CC11：0.5
15:55	7. 健康相談 (30分)	岡田 唯男 (医療法人鉄蕉会 亀田ファミリークリニック館山 院長)	CC4：0.5
16:25	8. 介護保険 (30分)	鈴木 邦彦 (医療法人博仁会 志村大宮病院 理事長・院長)	CC13：0.5
16:55	9. 在宅医療 (30分)	新田 國夫 (医療法人社団 つくし会 理事長)	CC80：0.5
17:25	10. 死体検案 (30分)	三浦 雅布 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 法医学分野 助教)	CC81：0.5
17:55	(3) 閉会・挨拶		
18:00	(4) 終了		

# 岡山県医師会認定かかりつけ医研修会

(地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会)

## プログラム

開催日：令和元年 10 月 20 日（日）

会 場：岡山県医師会館 三木記念ホール

参加者 98 名

10:00	(1) 開会・挨拶 (5分)	岡山県医師会長 松山 正春	生涯教育制度 CC：単位
	(2) 講 義		
10:10	1. 認知症 (60分)	砂田 芳秀 (川崎医科大学 神経内科学 教授)	CC29：1
11:10	2. 糖尿病 (60分)	利根 淳仁 (岡山済生会総合病院 内科主任医長)	CC76：1
12:10	< 休憩・昼食 > (40分)		
12:50	3. 脂質異常症 (60分)	肥田 和之 (独立行政法人国立医療機構岡山医療センター 糖尿病・代謝内科 医長)	CC75：1
13:50	4. 高血圧症 (60分)	中村 一文 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学 准教授)	CC74：1
14:50	5. 禁煙指導 (30分)	西井 研治 (岡山県健康づくり財団附属病院 院長)	CC11：0.5
15:20	6. 死体検案 (30分)	松山 正春 (岡山県医師会 会長)	CC81：0.5
15:50	< 休憩 > (5分)		
15:55	7. 健康相談 (30分)	江田 純子 (岡山県訪問看護ステーション連絡協議会 会長)	CC4：0.5
16:25	8. 在宅医療 (30分)	江田 純子 (岡山県訪問看護ステーション連絡協議会 会長)	CC80：0.5
16:55	9. 介護保険 (30分)	三石 哲也 (岡山県介護支援専門員協会 理事)	CC13：0.5
17:25	10. 服薬管理 (30分)	服部 真幸 (岡山県薬剤師会 地域包括ケア対策委員会委員)	CC73：0.5
17:55	(3) 閉会・挨拶 (5分)		
18:00	(4) 終了		

# 「岡山県医師会認定かかりつけ医研修会（映像研修）」

（地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会）

## プログラム

開催日：令和元年 11 月 14 日（木）

会 場：岡山県医師会館 4 階 401 会議室

参加者 23 名

※本研修会は、令和元年 8 月 25 日、10 月 20 日開催の研修会映像による研修です。

13:00	(1) 開会・挨拶	生涯教育制度 CC：単位
	(2) 講 義	
13:05	1. 糖尿病 (60 分) 菅原 正弘 (医療法人社団 弘健会 菅原医院 院長)	CC76 : 1
14:05	2. 認知症 (60 分) 瀬戸 裕司 (医療法人 ゆう心と体のクリニック 院長)	CC29 : 1
15:05	< 休憩 > (10 分)	
15:15	3. 脂質異常症 (60 分) 江草 玄士 (江草玄士クリニック 院長)	CC75 : 1
16:15	4. 高血圧症 (60 分) 有田 幹雄 (社会医療法人スミヤ 角谷リハビリテーション病院 院長)	CC74 : 1
17:15	5. 服薬管理 (30 分) 秋下 雅弘 (東京大学医学部附属病院 老年病科 教授)	CC73 : 0.5
17:45	< 休憩 > (10 分)	
17:55	6. 禁煙指導 (30 分) 正林 督章 (環境省大臣官房審議官 (水・大気環境局等担当))	CC11 : 0.5
18:25	7. 健康相談 (30 分) 岡田 唯男 (医療法人鉄蕉会 亀田ファミリークリニック館山 院長)	CC4 : 0.5
18:55	8. 介護保険 (30 分) 鈴木 邦彦 (医療法人博仁会 志村大宮病院 理事長・院長)	CC13 : 0.5
19:25	9. 在宅医療 (30 分) 新田 國夫 (医療法人社団 つくし会 理事長)	CC80 : 0.5
19:55	10. 死体検案 (30 分) 松山 正春 (岡山県医師会 会長)	CC81 : 0.5
20:25	(3) 閉会・挨拶	
20:30	(4) 終了	



シャープはればれ

## 「安全運転相談ダイヤル（#8080）」の運用

概 要	<p>近年、高齢運転者による重大事故が全国的に発生している中、運転に不安を感じる方やその家族等からの相談への対応の必要性が増していることから、従来の「運転適性相談」の名称を「安全運転相談」に改めるとともに、全国統一の4桁の専用ダイヤル「#8080」の運用を令和元年11月22日（金）から開始</p>
対 応 者	<p>医療系専門職員（保健師）、警察官、運転免許試験官等</p>
対 応 内 容 の 具 体 例	<p><b>1 本人から「病気」について相談</b>          具体的な症状を聞きアドバイスを行うとともに、以下のような具体的な指導を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 病状に応じて病院を紹介するなどして医師の診断を受けるよう指導</li> <li>○ 医療系専門職員や警察官等が個別に面接し必要なアドバイスを実施</li> <li>○ 必要に応じて専門医による臨時適性検査を実施</li> </ul> <p><b>2 本人から「身体の障害」について相談</b>          具体的な症状を聞き免許の条件付与に関する説明等を行うほか、必要に応じてシミュレータ等により運動機能を確認して免許条件を付与</p> <p><b>3 本人から自主返納について相談</b>          一般的な制度説明のほか、「おかやま愛カード」事業や地域包括支援センターの紹介、運転経歴証明書の説明等、自主返納後の不安を取り除くための説明を実施</p> <p><b>4 本人から「高齢者向けの安全運転」に関する相談</b>          加齢に伴う身体機能の低下について説明するほか、補償運転（体調がすぐれないときの運転は避ける、夜間・雨天時の運転は避ける、交通量の多い道路を避ける、朝夕ラッシュ時間帯の運転を避けるなど）を行うことなどのアドバイスを実施</p> <p><b>5 妻から「高齢の夫の運転が危ない」との相談</b>          加齢に伴う身体機能の低下等について説明するほか、認知症が疑われる場合には、適切な病院を紹介して医師の診断を受けるよう指導等を実施</p>
相談窓口の 周 知 措 置	<p>広報チラシや県警ホームページ、フェイスブックを活用しているほか、岡山県医師会のホームページにも掲載のご協力をいただくなど、関係機関とも連携して周知に努めているもの</p>



高齢ドライバー  
のみなさん  
家族のみなさん

運転に不安を感じたら

# まずは相談 気持ちハレバレ

8 0 8 0

周りが  
見えづら  
くなった

身体の  
動きが鈍  
くなった

最近、こんな経験ありませんか？

物忘れが  
多くなった

運転中  
ヒヤッと  
したことが  
ある

加齢に伴い視野障害や筋力の衰えなど、身体機能が低下すると、運転操作のミスへとつながり、交通事故を引き起こす可能性が高まります。



運転に不安を感じたらお電話ください。

安全運転相談ダイヤル 

# 8 0 8 0

シャープ ハ レ バ レ

- この番号にダイヤルしていただくと、発信場所を管轄する都道府県警察の安全運転相談窓口につながります。
- 受付時間は原則として平日の執務時間内となります。
- 通話料は利用者負担となります。

# 運転に不安を感じたら まずは相談



最近、こんな経験ありませんか？



視野が狭くなったり部分的に見えづらくなった。



身体の動きが若い頃より鈍くなった。



物忘れが多くなった。



運転中ヒヤッとしたことがある。

加齢に伴い、視野障害や筋力の衰えなど身体機能が低下すると、運転操作のミスへとつながります。これにより、重大な交通事故を引き起こす可能性が高まります。

**「若い頃とちょっと違うな」「おかしいな」と感じたら、運転免許証返納の時期です。**

高齢ドライバーや家族のみなさん  
高齢や病気等で運転を続けることに不安を感じたらお電話ください。

安全運転相談ダイヤル

**# 8 0 8 0**

シャープ ハ レ バ レ

運転免許証を返納すると  
**「運転経歴証明書」**  
の交付が受けられます。\*

各種 **特典** も  
受けられます！

「高齢運転者支援サイト」



運転経歴証明書は、運転免許証に代わる公的な身分証明書として銀行口座の開設時等に利用可能です。その他、タクシー・バスの運賃割引や、宅配料金の割引など様々な特典が受けられます。(自治体により異なります。)

\* 令和元年12月1日からは、運転免許証の有効期間が経過して運転免許が失効した方も運転経歴証明書の交付が受けられます。

# 地域における見守りネットワークの構築について

## ○消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）について

高齢者等の消費者被害防止や被害の早期発見のために、地域の福祉関係者、事業者、警察等が連携して、必要な情報交換、見守り活動等を行う組織（消費者安全法に規定）

## ○協議会の概要

協議会の役割 … 構成員間での必要な情報交換、協議

構成員の役割 … 消費生活上特に配慮を要する消費者と適当な接触を保ち、その状況を見守り、必要な取組を実施

構成員 … ・地方公共団体の機関（消費生活センター等）

・医療・福祉関係（病院、地域包括支援センター民生委員・児童委員等）

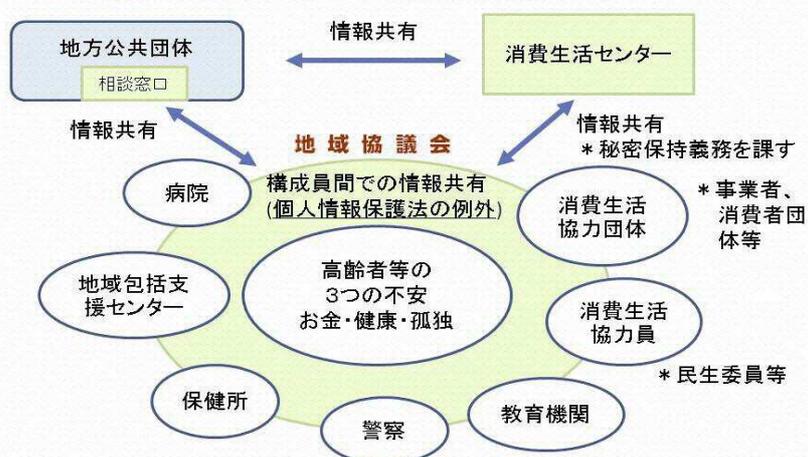
・警察・司法関係（法テラス、弁護士、司法書士等）

・教育関係（教育委員会等）

・事業者関係（商店街、コンビニ、生協、農協、宅配事業者、金融機関等）

・消費者団体、町内会等の地縁団体、ボランティア

「見守りネットワーク」における地域の連携イメージ



## ○協議会設置のメリット

・地域の関係機関の連携強化が図られ、地域の様々な問題解決がスムーズになる。

・見守り活動に必要な情報を協議会の構成員で効果的に共有することができる。

※個人情報を含め共有を図るための法的根拠ができます。（消費者安全法第11条の4）

・見守りのネットワークが安定的なものとなり、活動を効果的に継続しやすくなる。

・住民のつながりが強い地域としてアピールでき、悪質業者に対する抑止につながる。

## ○県内の協議会設置状況

地区	設置時期	設置形態
岡山市 (五城学区)	H28. 9. 16	小学校区・地区単位で、各種地域団体が連携して安全で安心な地域づくりを推進する「安全・安心ネットワーク」の枠組みをそのまま生かして設立
浅口市 (全域)	H29. 5. 30	高齢者等に関わる幅広い機関で組織する既設の高齢者虐待等防止協議会を、消費者安全確保地域協議会に位置付けるかたちで設立

※全国の協議会設置状況：193協議会（H30年12月末現在）

## ○設置に向けた県のサポート

・研修会の開催や担当職員が地域に出向いてネットワークづくりをサポートする。

・地域の関係者の見守り力アップのための出前講座を開催する。

・地域で見守り訪問活動を試行的に行うモデル事業を実施する。